



2010年10月15日

みなさん、こんにちは。10月に入り、すでに半月が経ちました。歩いていると、あちらこちらでキンモクセイの香漂う季節となりました。

● 41人の画家達のパレットと作品を展示

今月9日（土）より、秋季特別展『描くひみつ、画家のすがおーパレットと絵画の展覧会』が始まりました。

茨城にある笠間日動美術館は、世界的にも珍しい画家のパレットのコレクションを所蔵しています。今回の展示は、そのコレクションを主な出品として、絵画の作品とともに、画家達が使用していたもの・得意のモチーフを描きこんだものなど画家のパレットをご覧いただくことができます。出品作品の中には小磯良平や金山平三、伊藤清永など兵庫出身の画家のものもあります。また、サクラクレパス、(株)ターレンスジャパンの協力で、印象派の画家達のパレットを再現したものを参考展示しています。

画家の創作の現場を垣間見ることのできる展覧会です。芸術の秋、珍しいパレットコレクションと作品の数々をぜひご鑑賞下さい。



↑ 会場の様子



● バイオリン・ビオラ・フルートの協演 ～ ミニコンサート ～

少し前になりますが、9月末、『元永定正・中辻悦子 絵本原画展』の関連イベントとしてミニコンサートが行われました。

ロビーに展示があるため会議室が会場でしたが、バイオリンの井上さん、フルートの佐野さん、ビオラの秋田さんの室内楽を、お楽しみいただきました。

演奏曲は、展覧会の内容にあわせて、こども向けの《夢をかなえてドラえもん》《クインテットのテーマ》や

《赤とんぼ》など。出演の3人はまだ神戸女学院の学生さんだそうですが、MCや編曲も自分たちで行い、「難しい曲なので失敗したらごめんなさい」と謙遜しながらも

運動会でよく使われるテンポの良い曲《クシコスの郵便馬車》も弾きこなしていました。会場に集まったお客様には、憩いのひと時を味わっていただけたのではないのでしょうか。



ミニコンサートの様子(9月26日)

● 特別企画展示「古墳時代の明石」のご案内

秋季特別展と同じ9日、もうひとつ新しい展示が始まりました(24日(日)まで開催)。

今月16日(土)と17日(日)に、明石市生涯学習センターや兵庫県立考古博物館などを会場に行われる考古学協会兵庫大会の開催に合わせて行う特別企画展示「古墳時代の明石」です。

体験学習室脇にある小展示室で、兵庫県指定文化財の藤江別所遺跡出土の遺物や幣塚古墳出土埴輪などの資料を展示・公開しています。

秋季特別展開催中ですので、ご観覧いただくには秋季特別展・常設展示などもあわせてご覧いただけるチケット(大人1,000円、大高生700円、中小生500円)を受付にてお求めください。

なお、考古学協会兵庫大会についての詳細は、日本考古学協会のサイト(<http://www.soc.nii.ac.jp/jaa2/index.htm>)をご覧ください。



↑会場は体験学習室脇の展示室です

● 展覧会関連イベント、参加者募集中です！

11日(月・祝)、秋季特別展関連イベントの講演会「巨匠たちのパレット秘話」が行われました。日動画廊の長谷川徳七氏と智恵子氏を話し手に、交流のある巨匠画家たちとのエピソードを披露していただきました。



11日の講演会

この講演会のほかにも、関連イベントが盛りだくさん！以下のイベントは参加者募集中ですので、ぜひお申込ください。

■講演会「画家のパレットからなにがわかるか？」

日時：10月23日(土)午後2時～3時30分 定員：80名(先着順)

講師：森田恒之氏(国立民族学博物館名誉教授)

■こどもワークショップ「パレットに絵をかこう！」

日時：10月30日(土)午後2時～3時

定員：20人 対象：小学生以上

ご希望の方はお電話で(☎918-5400)。また、申込不要のイベントと

して、学芸員による展示解説を17日、24日、31日、7日(各午後2時～(約30分))に、ロビーコンサートを10月16日と11月3日(こちらも各午後2時～(約30分))に予定しています。展覧会とあわせ、お楽しみください。

「天高く…」の言葉の通り、澄みわたる秋空は高く心地よく感じられ、散歩するにも良い季節ですね。

今月初旬のある日、明石公園を歩いていると、23日から行われる菊花展の準備が進められているのを見かけました。

花の季節といえば春を想いますが、秋も菊・コスモス・彼岸花・萩など小さくても個性豊かな花々が咲く季節です。秋の花であるキンモクセイと菊は、明石市の花に指定されていますよ。

